

鉄筋コンクリート

第二卷

D07.05

I

24639

15

名著100選図書

登 録	昭和	56. 9. 17	年	月	日
番 号	第	<b>24639</b>	号		
社団 法人	土 木 学 会				
附 属	土 木 図 書 館				

# 鐵筋コンクリート

工學博士田邊朔郎校閲

工學士井上秀二著



東京

丸善株式會社

(明治卅九年六月)

## 緒 言

耐久、強力、廉價、施工の簡易、及び體裁の美、總て之れを土木工事の主眼とす。然り而してこれ等要求の最も多きを満たすべきものは鐵筋混凝土工是れなり。故に泰西諸國にありては之れが創案以來日尙ほ淺しと雖も、其各種構造物に適用せらるゝは實に盛大にして、方さに鐵時代を經過し、鐵筋混凝土時代を現出せんとするの氣運を示しつつあり。本邦現時に於ては其應用尙ほ未だ、寥々の嘆を免れ得ざるも、近き將來に於て旺盛の氣運に至るべきは固り喋々を須ひさるなり。

本書は著者が公務の餘暇を以て部下技術員の需に應じ、刻下泰西に行はれつつある鐵筋混凝土に於ける應力計算法中、簡易にして最も實用に適せるものの一端を講述し之れに多少の訂補を試みたるもののみ。則ち固より詳細なる事項を網羅せるものにあらず。且短日月間の講述にあれば不完全にして誤謬の多きを免れざるべし、大方讀者請ふ之れを諒し示教を吝まれさらんことを。

明治三十九年六月

著 者 識

目次	
第一編 總論	
第一章 鐵筋混凝土の起原、發達、及び其應用 .....	頁 1
第二章 鐵筋混凝土工の種別 .....	3
第二編 理論	
第三章 概説 .....	19
第四章 混凝土、及び鐵の性質、及其強度 .....	22
第五章 鐵筋混凝土に於ける應力計算に關する原則、及び假定 .....	40
第六章 壓力をうくるものの應力計算 .....	53
第七章 彎曲をうくるものの應力計算 .....	74
第一類 断面長方形にして鐵の断面積が全断面積に比し非常に小なる場合 .....	75
第二類 断面長方形にして鐵の断面積大なる場合 .....	101
第三類 断面丁字形にして鐵の断面積が全断面積に比し非常に小なる場合 .....	109
第八章 壓力及彎曲を同時にうくるものの應力計算 .....	130

第一類 鐵の断面積が全断面積に比し非常に小なる場合 .....	130
第一 断面に應張力を生ぜざる場合 .....	130
第二 断面に應張力を生ずる場合 .....	142
第二類 鐵の断面積大なる場合 .....	153
第一 断面に應張力を生ぜざる場合 .....	153
第二 断面に應張力を生ずる場 .....	159